

パラオ



PALAU

ガイドブック

1. パラオってどんな国？



2. 生活スタイル



3. 観光スポット



4. 歴史



5. 日本との関係



1. パラオってどんな国？

パラオってどこ？



◀パラオの国旗
日本の国旗をモデルにしているのでは？という説もある。



概要

- 国名：パラオ共和国
- 首都：マルキョク州ンゲルムッド
- 人口：約18,092人（うち日本人251人）
- 面積：488km²
- 島数：386（うち有人島9つ）
- 言語：パラオ語、英語
- 通貨：米ドル
- 主要産業：観光業
- 平均気温：27度
- 平均湿度：83%

▲外務省HP/在パラオ日本国大使館HPより

温暖であったかくてとても過ごしやすい気候でした。年中暖かいので夏が好きな人にはパラオはぴったりの場所ですね！



パラオ語

- Ziangkempo
- Chaikodetsiu
- Sapporo Ichibang
- Bakanister
- Tsukarenaos
- Mendoksai
- Atama Sabiter

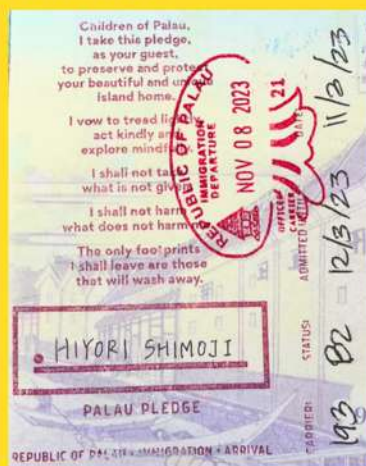
日本語

- ジャンケンポン
- あいこでしょ
- インスタントラーメン
- 馬鹿にしている
- (疲れ治す)飲み会
- 面倒くさい
- (頭錆びてる)抜けている

/ 日本語由来のパラオ語が約2,000語も！

パラオ誓約 (Palau Pledge)

パラオの入国スタンプには、パラオの自然を保護することを誓う「パラオ誓約」と同意の署名の欄がある。



パラオ誓約に署名することで、この美しい自然を守っていかないと！という環境保護の意識が強くなりました！



2. 生活スタイル

交通



- ・基本、移動は自家用車
- ・公共交通機関は存在しない
- ・流しのタクシーはない
- ・タクシー料金は乗車前の運転手との料金交渉で決まる
- ・日中は暑すぎてあまり人がいない
- ・ナンバープレートは後ろだけ
- ・信号はない
- ・日本の中古車（右ハンドル）が多く利用されている
- ・車道は右側通行
- ・日本の運転免許証でも運転可能

私はPCCの学生「アキオ」！！
ゆったりとした雰囲気
パラオの生活を紹介しますよー！



▲右ハンドル右側通行に慣れてなくて何度も間違えました！



▲コロールのメインストリート（夕方）



▲パラオのガソリンスタンド



▲コロールのメインストリート
（昼間はこんなに人がいない！）

食べ物



最初は量の多さにびっくり仰天した！



朝ごはんは「タマ」
（沖縄のサーターアンダーギーに似たお菓子）
特にトゥータマ（バナナ味）が人気！



カップ麺を頻繁に食べる



炭酸飲料を好きな人が多い



一人前の量が多い！



ヤシの実を飲む



お菓子をいっぱい持ち歩く



フルーツバットを食べることもある



ジャンクフードを好きな人が多い



農業が盛んではなく、輸入品が多い



オカガニを「ウカイプ」という料理にして食べる

国民性

- ・みんな優しい
- ・気軽に話しかけてくれる
- ・マイペース
- ・仕事はのんびりやる
- ・みんなフランク
- ・信号がなくても譲り合う
- ・WELCOME精神が旺盛
- ・日本語で挨拶してくれる人がいる
- ・何事に対しても心が広い

右の写真は
運転手さんから買った
タマとバナナの
差し入れ!!



▲バナナとコーヒーとタマ



▲PCCの学生との集合写真



▲パラオ国際サンゴセンター 入口

パラオあるある



- ・日本語で話しかけてきがち
- ・天気が変わりやすいため、天気予報はずれがち
- ・犬と鶏が至る所にいる
- ・夜は気温が下がる為、人と車の動きが活発に！
- ・暑すぎて半袖半ばん
- ・「ダイジョーブ」が口癖
- ・基本家でゆっくり過ごす事が多い
- ・蚊が少ない



▲ガラスマオの滝までの道中



▲コロールの船乗り場



▲ナイトマーケット

PCC

(パラオコミュニティカレッジ)



- ・1927年に設立
- ・2年制の短期大学
- ・パラオ唯一の高等教育機関
- ・刑事司法学、リベラルアーツ、看護学、農学、経営学などを専攻可能
- ・マイペースでみんな優しい
- ・琉球大学との交換留学提携校のうちの一つ



▲PCC (パラオコミュニティカレッジ)



▲琉球大学生のプレゼンの様子 IN PCC



▲PCCの学生とプレゼン交流



▲PCC内の売店



3. 観光スポット/有名な場所

ロックアイランド



▲ロックアイランド



▲ナチュラルアーチ



とにかく海が綺麗で、
点在する島々が神秘的でした！

海水や浸食によってできた天然のアーチ。
干潮時にはボートでくぐることも可能で
人気の撮影スポット！

- 太古のサンゴ礁が隆起してできた島々で、マッシュルームのような形が特徴的
- 文化と自然の複合遺産
- 大小400以上の無人島が点在

ガラスマオの滝

- 国内最大の滝
(滝幅約37m・落差30m)
- トレッキングルートは片道40分
滝の中で泳ぐことができる
- 滝の裏側にもいける！



▲道中かなり大変！



▲入口が少し分かりづらい！



▲ガラスマオの滝

真下から見る滝は壮大！
トレッキング後に泳げるのはたまらない！

ジェリーフィッシュレイク



▲ジェリーフィッシュレイク

- クラゲ（ゴールデンジェリーフィッシュ）が住む湖。
毒のある触手が衰退しているため、クラゲと一緒に泳ぐことができる
- クラゲの減少によってツアーが中止されていたが、2018年から再開
- ガイドがクラゲを傷つけない泳ぎ方のレクチャーを受けることができる
- クラゲの保護の為、入水する1時間前までに日焼け止めを塗る

ベラウ国立博物館



▲伝統的な集会所であるバイ



▲ベラウ国立博物館

- パラオにある最大の博物館
- 1955年に設立されたミクロネシア最古の博物館
- 約3万点の標本や展示品が保管されており、パラオの歴史と文化を学ぶことができる
- 敷地内には第2次世界大戦の戦跡や木造のバイが復元されている
- お土産店も併設！

4. 歴史

1710年 ヨーロッパの探検家たちによって発見され、その後多くの国による統治を経験することになる



2024年 パラオ独立30周年

日本統治時代のパラオの歴史

- 1914年 第一次世界大戦勃発。
日本がパラオを含むミクロネシアを占領。
- 1920年 ミクロネシアが日本の委任統治領になる。

日本からの移民による **殖産興業** と地元住民の **教育** に注力
→ **パラオの近代化に貢献した側面もある**

- 1938年 パラオ支庁の人口23,549人中
島民6,509人、日本人17,007人（沖縄人 約6,800人）
日本人がパラオ人よりも多かった時期もあった



▲パラオ第一国民学校跡（PCC敷地内）

第二次世界大戦（ペリリュー島）

第二次世界大戦時の日本軍とアメリカ軍の激戦地
日本軍が民間人を疎開させていた為、
民間人の犠牲者は非常に少なかった。

島には戦車や戦闘機・洞窟・ヘルメット・司令部
などの多くの遺物や慰霊碑が現在も残っている。
戦没者の慰霊や平和への祈り、
また戦跡を巡るツアーとして観光客が訪れる。
現在の島民数は700人ほど。



▲アメリカ軍の水陸両用戦車



日本人として沖縄県民として、
ペリリューで起こった出来事を学び、
伝えていかなければならないと感じました。

現在の日本とパラオの関係

- 2015年4月9日 天皇后両陛下（当時）がパラオを御訪問し、御供花になった
→ ペリリュー州では「天皇后両陛下御訪問の日」として祝日に
- 2022年 沖縄県とパラオ共和国との友好関係の強化に関する覚書（MOU）締結

5. 日本との関係

JICAパラオ事務所の方からのお話



▲パラオと日本の友好橋

現地政府からニーズが提示されたり、地域の人々との交流の中で事業のニーズが特定されて、さまざまな事業が形成されていきます！（よき相談相手！）

【パラオにおけるJICAの支援】

海洋環境保全（サンゴ礁）や経済成長基盤・基礎インフラ（電力等の安定供給を目指した設備改善や道路等）の強化等に携わっている。2022年でJICAパラオ事務所設立25周年。

【JICA海外協力隊の活動】

教育機能強化（理数科中心）やスポーツ振興支援（野球）、日本語教育推進など多岐にわたる分野で支援を行う。

【主な実績/プロジェクト】

- ・友好橋の建設
- ・国際空港ターミナル拡張
- ・上水道改善計画
- ・協力隊の派遣：通算291名 など



協力隊の任期は2年と限られている中で、現地での課題解決や提案、引き継ぎにおける体制づくりなど、任務の難しさと大変さを実感しました。



【体育教師として】

パラオ人の運動習慣促進を目的に小学校で活動している。パラオでは車社会+年中温暖であるため運動不足になりがち。体育教師だけでなく、全ての職で人材不足。JICAは、公立小中学校17校中13校に隊員を派遣予定。

【栄養士として】

パラオの子どもたち（全公立小中学校17校、高校1校）約2,000名対象に朝・昼の2回の給食サポートをしている。食材の調達・献立づくり・在庫管理・食育の授業など多岐に渡る業務をたった6人で運営している。

JICA海外協力隊の派遣先訪問



▲JICA体育教師の体育の授業



▲JICA栄養士隊員によるお話の一コマ

パラオ大使館訪問で分かったパラオの課題

① 海外依存の経済構造（外国人労働者含む）

② 人口流出による人材不足

パラオ国籍であれば米軍への就職やビザなしでの米国への就学や就業が可能



③ 観光業に依存した産業、職員の待遇 など
教育現場職員の待遇改善が課題となっており、JICAはそれらの課題を教育省に届ける役割も担っている。

感想



琉球大学 国際地域創造学部 3年次 下地陽由

パラオに直接足を運んだことで、パラオと日本、沖縄の間には強い関わりがあることを学びました。パラオに多くの「日本」が残っており、そのことについて多くの方に知ってもらいたいと思いました。

本冊子には、パラオの魅力や驚きの情報までたくさん詰め込みました！多くの方がパラオを知るきっかけになってくれたら嬉しいです。

パラオの好きなところ！

パラオの暖かくて綺麗で海がだいすき！❤



琉球大学 国際地域創造学部 3年次 渡邊真由美

この冊子には、現地での生活や人との交流を通じて学んだ、コアな魅力が満載されています！最初は名前しか知らなかったパラオについて、こうして皆さんに手に取って知ってもらえる機会を作れたことは、私の渡航した意義でもあり、大変うれしく思います。ぜひ楽しんでお読みください！

パラオの好きなところ！

気軽に日本語で挨拶してくれたり、タマをプレゼントしてくれる優しさにあふれた国民性！😊



琉球大学 国際地域創造学部 2年次 大城万璃

本プログラムを通して、自分達の事を理解する為に、外の世界を知る事の重要性を実感しました。元々、沖縄戦について小さい頃から学んできましたが、パラオで現地の戦争の痕跡を生で見て学ぶことで、今までの知識が繋がり深い学びへと変わりました。リゾート地としてだけでなく、学びの場としても是非パラオへ訪れてみてほしいです！

パラオの好きなところ！

綺麗で広い海も、自然豊かだけど蚊が全然いないところも好き！👏



▲世界遺産ロックアイランド

島中に自然が溢れていて、気持ちよかったです！

ホテル前の林▶



▲ガラスマオの滝

どこの海も透き通っていて幸せもらいました(^^)

カフェサイドのビーチ▶



本パンフレットは公益財団法人東芝国際交流財団の助成によって作成されています。

パンフレットの問い合わせ
(特活) 沖縄平和協力センター 電話098-866-4635